

氏名	高柳 雅朗	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	解剖学、神経解剖学、解剖学教育				
学位	博士（農学）				
学歴	名古屋大学農学部卒業、名古屋大学大学院農学研究科博士課程(前期課程)修了、名古屋大学大学院農学研究科博士課程(後期課程)修了				
経歴	1996年 東邦大学医学部 助手、2019年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	日本解剖学会、日本神経科学学会、日本獣医学会、日本看護学教育学会、日本臨床生理学会、日本メ ^テ ィカイリストラシヨ ^ン 学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事)、日本人間工学会システム大会部会、看護人間工学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	肺の学習教材ペーパークラフト-医療従事者を目指す学生のための実物大の解剖学の学習教材-	共著	あり		日本メ ^テ ィカイリストラシヨ ^ン 学会雑誌, 3, 77-80	高柳雅朗、小林里美、野崎真奈美、井上由理子	2021.9
2	Effect of vitamin C and exercise on alveoli and cytokines: Analysis of a chronic obstructive pulmonary disease (COPD) and skeletal muscle atrophy model in SMP30/GNL knockout mice	共著	あり		J Phys Med Rehabil Disabil 7: 062	Maruoka H, Tanaka K, Takayanagi M, Zenda M, Ishigami A	2021.4
3	Changes in health consciousness of nursing students in Japan after acquiring medical care knowledge from a nursing school	共著	あり		Open Journal of Nursing, 11, 794-800	Inoue Y, Ezure H, Ito J, Sawa C, Yamamoto M, Wakatsuki MH, Hata H, Sasaki A, Takayanagi M, Takaki T, Tanaka M, Moriyama H, Otsuka N	2021.9
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	骨盤の解剖学教材ペーパークラフトの開発	共同		第3回看護人間工学会学術集会、越谷市(オンライン開催)	○高柳雅朗、野崎真奈美、篠原理恵	2021.9	
2	股関節の学習教材ペーパークラフトの開発	共同		第30回日本人間工学会システム大会、東京(オンライン開催)	○高柳雅朗、野崎真奈美、篠原理恵	2022.3	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	体表で容易に触知できる骨とその周辺について	単著		心とからだの健康, 26(3), 69-71	○高柳雅朗	2022.3	
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	埼玉県立大学奨励研究費			遠隔授業でも学生が立体的に学習できる脳解剖学教材ペーパークラフトの開発	研究代表者	2021.4-2022.3	
2	埼玉県立大学奨励研究費			遠隔授業でも立体的に学習できる骨盤の解剖学教材ペーパークラフトの開発	研究代表者	2021.4-2022.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			酸化ストレスと知覚神経過伸長の関係-褥瘡圧迫モデルマウスによる神経解剖学的研究	研究分担者	2019.4-2022.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	解剖学①、解剖学②	○	30	1年生を対象に、人体模型を用いて立体的な理解が出来るよう工夫した。自分および他者の身体での理解も出来るよう努めた。
2	解剖学特論	○	15	1年生を対象に、運動器と神経系について、人体模型を用いて立体的な理解が出来るよう工夫した。自分の身体で理解が出来るよう努めた。
3	応用人体構造機能論	○	9	大学院博士前期課程の学生に対し、中枢神経系の講義をした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW論①、IPW論②		15	2年生を対象に、チームワークの演習、リフレクションの演習、模擬IPWを通してIPWの理解を深めるよう講義と指導をした。
2	IPW演習①、IPW演習②		15	3年生を対象に、多職種理解や多職種連携で重要な葛藤や合意形成等の理解を深めるよう、講義と指導をした。
3	理学療法特別演習(国家試験対策)		0.5	過去の理学療法士国家試験の問題を解説しつつ、中枢神経系の解剖学に重点をおいて講義した。
4	作業療法総合演習(国家試験対策)		1	過去の作業療法士国家試験の問題を解説しつつ、中枢神経系の解剖学に重点をおいて講義した。
5	保健医療福祉演習(応用人体構造機能Ⅰ)	○	15	大学院博士前期課程の学生に対し、形態学的研究法および組織学的研究法について講義および演習をした。
6	保健医療福祉演習(応用人体構造機能Ⅱ)	○	15	大学院博士前期課程の学生に対し、形態学的研究法および組織学的研究法について講義および演習をした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	解剖学実習(理学・作業)	○	22.5	理学療法学科・作業療法学科の1年生に対し、人体模型を用いて骨、筋、脳、内臓の各構造について実習をした。
2	解剖学実習(行動)	○	15	健康行動科学専攻の1年生に対し、人体模型を用いて骨、筋、脳、内臓の各構造について実習をした。
3	ヒューマンケア体験実習		18	1年生を対象に、遠隔授業での実習が円滑にすすむようサポートした。
4	解剖学標本見学実習	○	2021.12	理学療法学科・作業療法学科の1年生に対し、ヒト遺体の解剖学標本を用いて運動器、神経系、内臓を中心に人体構造について実習をした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	人体の構造と機能及び疾病	2021.9-2022.2	初学者への導入として、重要項目を絞り、分かり易い解説を努めた。	
2	国家試験対策講義(解剖生理学)	2021.12-2022.1	過去の看護師国家試験の問題の解説を中心に解剖生理学の講義をした。	
3	解剖学実習	2021.4-2021.5	ヒト遺体を用いて網羅的かつ局所解剖学的に実習をした。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事、学術集会企画運営委員	2021.4-2023.3	
2	社会福祉法人 気づき	評議員	2018.2-2021.6 2021.7-2025.6	
3	第3回看護人間工学会学術集会運営委員会	企画委員長	2020.11-2021.11	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	学部 教務委員会 委員 (専門基盤科目)		2021.4-2022.3
2	学科等における委員会等	学科等代表者		2021.4-2022.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			